

漫画界に燦然と輝く名作が復活!

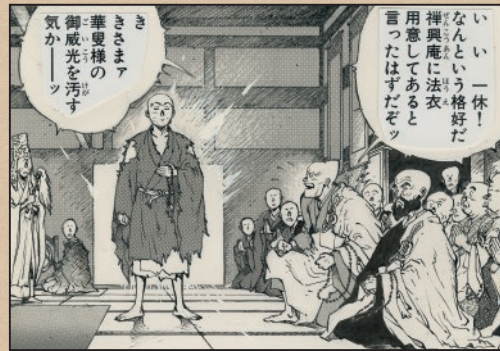
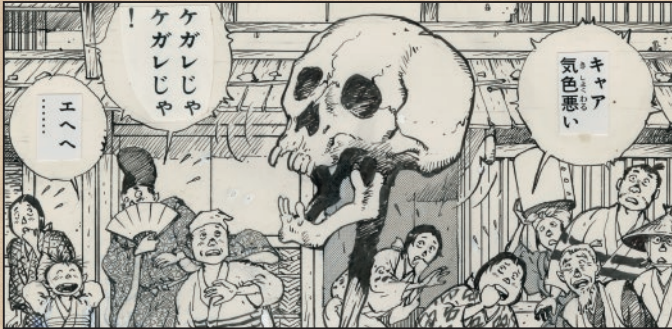
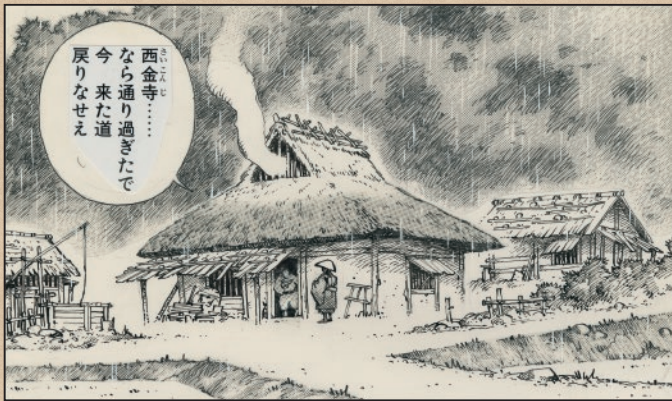
2024年1月、坂口尚の代表作の一つ『あっかんべー休』がKADOKAWAより復刊されました。室町時代の禅僧・一休宗純の生涯を、時代の世相とともに重層的に描いた作品で、1996年度の日本漫画家協会賞優秀賞を受賞しています。

漫画家・アニメーターとして活躍した坂口尚は、1995年12月に49歳の若さで急逝しましたが、没後も作品の評価は衰えることなく、国内外のさまざまな出版社から刊行され続けています。近年では海外での評価も高まっており、2023年のフランス・アングレーム国際漫画祭では『石の花』が「遺産賞」を受賞。これまでにフランス、スペイン、中国、台湾、アメリカ、ブラジルなどから作品が翻訳出版されています。

特定非営利活動法人マンガ作品保存会 MOM では、この度の復刊を記念して、〈坂口尚『あっかんべー休』展〉を開催します。当該作品の原画や複製画、執筆当時の貴重な資料を展示するほか、最近発見された初期の未発表作品の原画なども展示する予定です。その他、既刊単行本等の閲覧コーナーを設置し、現在では入手困難となっている書籍等も展示します。また、会期中に当会発行の書籍やオリジナルグッズの販売、トークショーも行います。販売品の売り上げは後世に残すべき文化遺産であるマンガ原画の保存・修復活動のために使われます。

坂口尚 Hisashi Sakaguchi(1946—1995)

東京都荒川区出身。高校在学中の1963年に虫プロダクションへ入社。アニメーション作品『鉄腕アトム』『ジャングル大帝』『リボンの騎士』等で動画、原画、演出を担当。その後フリーとなり、1969年、漫画雑誌『COM』誌に『おさらばしろ!』で漫画家としてデビュー。以後多くの短編作品を発表し、1970年代後半の漫画界における“ニューウェーブ”の潮流では先駆的存在感を示した。一方でアニメーションの制作にも断続的に携わる。24時間テレビのスペシャルアニメ『100万年地球の旅 バンダーブック』『フウマン』等では、作画監督、設定デザイン、演出等を手がける。1980年～1982年、『12色物語』をシリーズ連載。1983～1995年にわたって、長編3部作となる『石の花』、『VERSION』、『あっかんべー休』を発表。1995年12月22日、49歳の若さで逝去。1996年、『あっかんべー休』が《優秀賞》を受賞。2023年、フランス「第50回アングレーム国際漫画祭」で、『石の花』が《遺産賞 Prix du Patrimoine》を受賞。



©Hisashi Sakaguchi

坂口尚「あっかんべー休」展

日時 | 2024年3月8日(金)～10日(日) 11:00～19:00 **入場無料**

会場 | 朝霞市産業文化センター 1F ギャラリー (埼玉県朝霞市大字浜崎669-1)

【アクセス】●東武東上線「朝霞駅」・JR武蔵野線「北朝霞駅」下車、徒歩約5分
●市内循環バスわくわく号膝折・溝沼線、根岸台線「産業文化センター入口」下車、徒歩約1分

[MOM公式サイト]

主催 | 特定非営利活動法人マンガ作品保存会 MOM

後援 | 朝霞市

<https://www.mom-manga.jp>

